

平成 29 年度第 2 回桑名市上下水道事業経営審議会 議事要旨

|         |  |
|---------|--|
| 日 時・場 所 | 平成 29 年 10 月 13 日（金）午後 2 時～<br>桑名市役所多度町総合支所 3 階 305 会議室  |
| 出 席 者   | 委員：8 名<br>事務局：13 名<br>傍聴者：0 名  |
| 議 事 次 第 | 1. 開会挨拶（企画総務課長）<br>2. 議事<br>（1）前回審議会の補足説明<br>（2）平成 28 年度上下水道事業決算の概要について<br>（3）効率化・経営健全化の取組について<br>（4）料金改定に伴う意見について<br>（5）その他<br>3. 閉会挨拶  |
| 要 旨     | 1. 開会挨拶<br>開会后、上下水道事業管理者より挨拶<br>2（1）前回審議会の補足説明<br>① 過去の料金改定時の対応件数（64 件）、問合せ内容等<br>・一般市民が約 50%、集合住宅の管理会社及び管理人が約 30%。<br>・料金改定後の金額及び改定率と料金の計算方法を合わせると約 60%であり、次いで料金の早見表がほしい、口径変更する場合の相談。<br>② 上下水道部以外で桑名市の手数料等の改定時に行っている周知方法等<br>・ホームページ及び広報くわな等で料金改定の必要性や将来に渡る運用コスト、更新費用、改定額の根拠資料等を公表している。<br>2（2）平成 28 年度上下水道事業決算の概要について<br>事務局より水道事業会計の決算について説明<br>・料金回収率について、経営戦略と比較すると向上しているが、平成 27 年度と比較した場合に低下しているが、その対策は？<br>⇒給水に係る費用について、給水収益以外で賄っている状況であったことから、料金改定により今後、給水収益が増加することで改善されていくと考えている。<br>・配水管路更新事業の決算額が経営戦略と比較すると少ないが、更新事業が予定より遅れているのか？<br>⇒設計を行った結果、支障工事の負担額が減少したためであり、更新事業の遅れではない。<br>・伊勢大橋連絡管整備の決算額が経営戦略と比較すると大幅に少ない原因は何か？<br>⇒伊勢大橋を建設する際に水道管を同時に添架させていただく工事であり、国の工事の進捗に合わせて行うため、次年度以降に事業を行う予定。 |

事務局より下水道事業会計の決算について説明

・農業集落排水統合事業について、今後いつ行われるのか？

⇒平成 29 年度に事業の認可を受けて、その翌年度以降に実施設計や工事を行う予定。

・企業債について

⇒割合は平成 27 年度の 58.5%と比較すると、平成 28 年度は 52%であり 6.5%減少している。

・企業債償還金について

⇒割合は平成 27 年度の 78.4%と比較すると、平成 28 年度は 75%であり 3.4%減少している。金額については、経営戦略に示した財政計画とほとんど変わらないように推移していくと考えている。

2 (3) 効率化・経営健全化の取組について

・遊休地について、恒常的な収益が得られる方法を検討することはできないか？

⇒土地の立地や面積等を踏まえて、売却や賃貸等有効な活用方法を検討していく。

2 (4) 料金改定に伴う意見について

事務局より寄せられた意見等を報告

・改定率改定額が非常に大きい、改定理由がわからない、料金の計算方法がわからないが 200 件以上であり、一般市民への説明が不十分ではなかったか？

⇒意見の統計を分析して次回の料金改定の説明会に反映させていく必要がある。

⇒料金改定時に限らず経営状況の説明や常日頃からの継続的な啓発が必要であり、できる限り市民の皆様目の目に触れられるよう努力する。

⇒事業が基本的には独立採算制であることが、共通理解となるように伝えていかなければならない。

⇒他部局と連携して行政部局のコストを開示するなかで、上下水道料金のあり方を伝えていくなど、最適な方法を検討してもらいたい。

2 (5) その他

事務局より、今年度の審議会については今回で終了予定と連絡

3. 閉会挨拶

上下水道事業管理者より挨拶

(以上)